

- 教育効果を得られたかを念頭に集計

US22 新入生アンケート

回答数: 79名

(対象: 88名。回答率:89.8%)

- 新入生の目的・方向性
- 動機、BBTを選んだ理由
- 学生生活の懸念

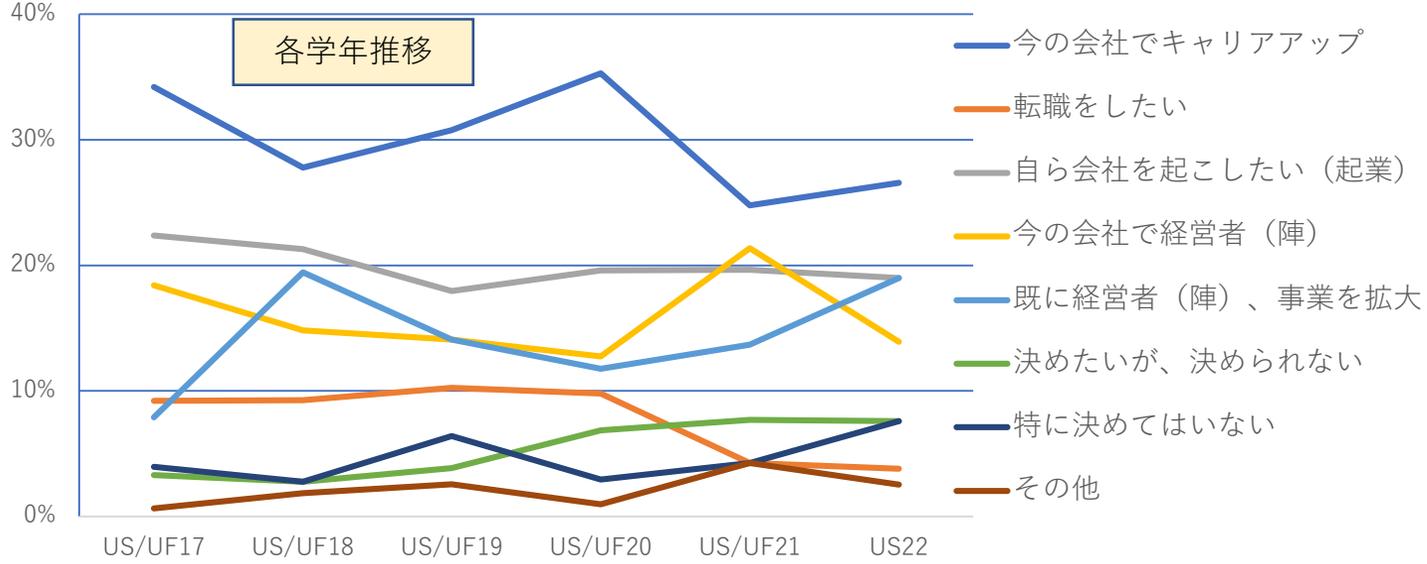
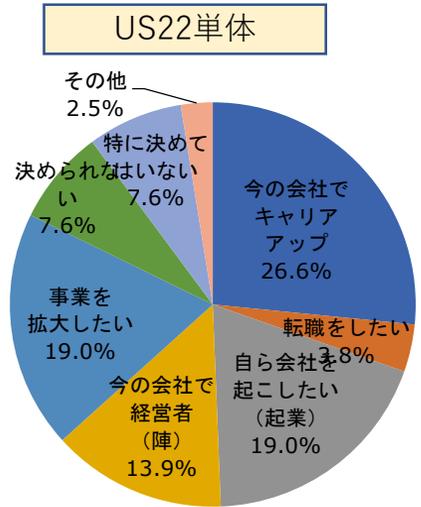
2022年春 修了生アンケート

回答数: 52名

(対象: 69名。回答率:75.4%)

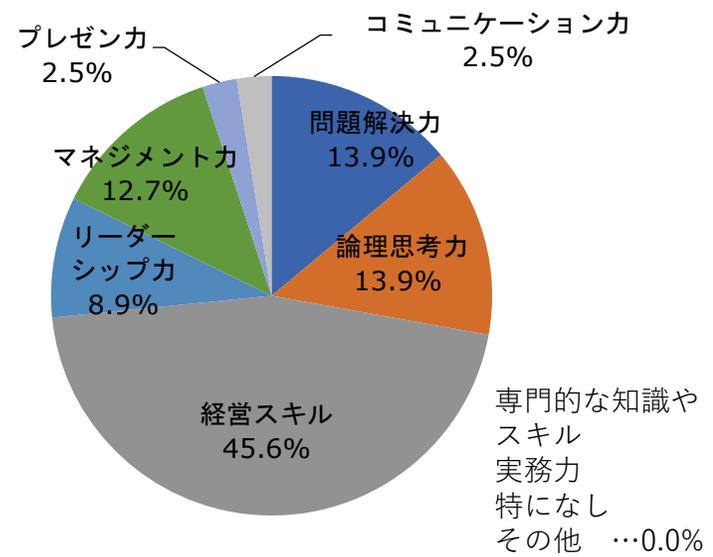
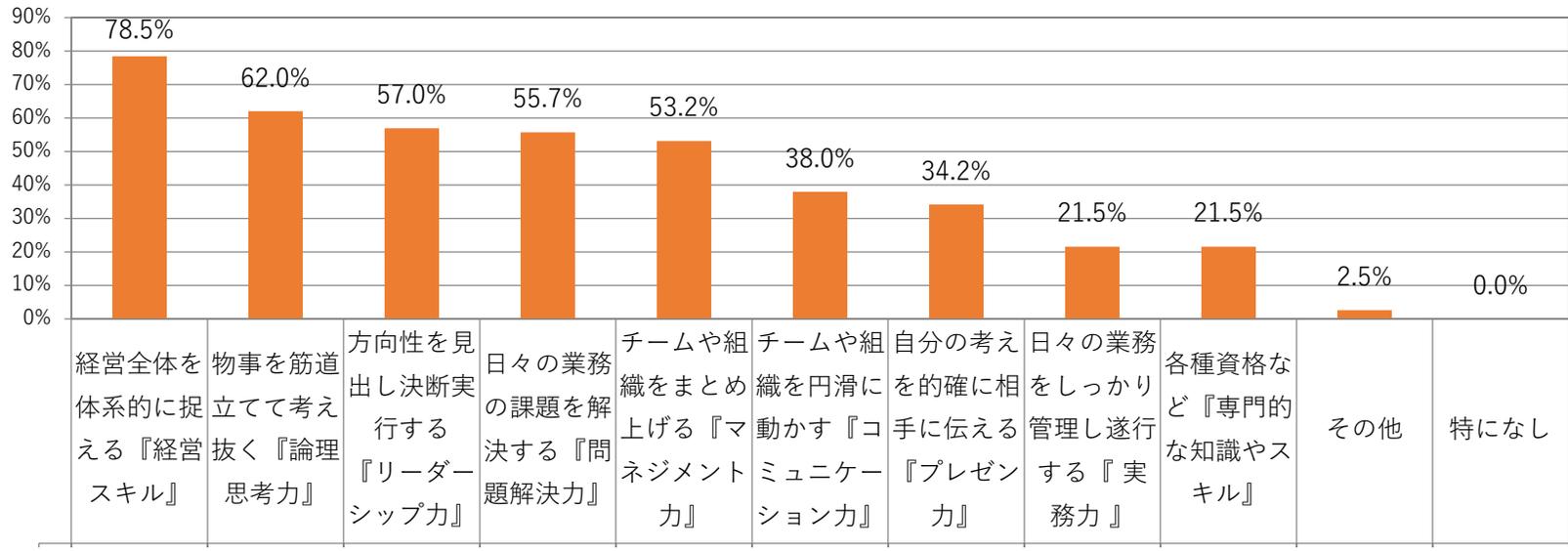
- 期待に応えられたか
- 懸念はどうなったか
- 今後BBTへの期待
- 7つのプロフィール

[1]今お考えの将来の方向性（キャリア）についてお聞かせください。 ※最も近いものを一つ選択。



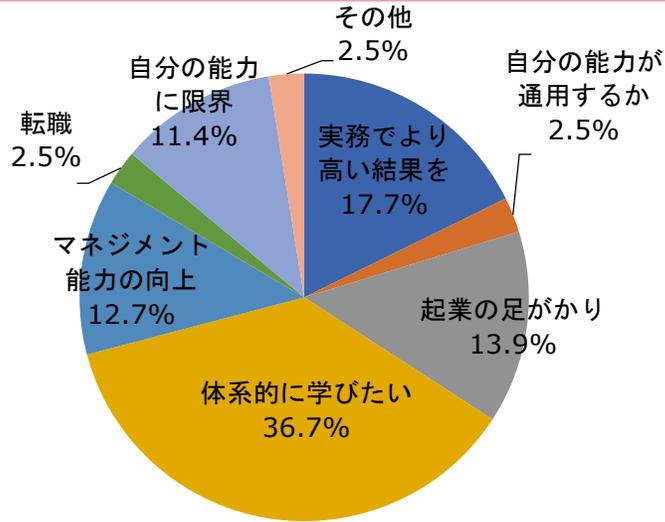
- ・今の会社でキャリアアップ
⇒ 起業/既に経営者
⇒ 今の会社で経営者
- ・転職が減、経営者層が増
- ・「決められない/特に決めていない」増加。和が15%

[2,3]強化したいスキルを教えてください（複数回答可） また最も強化したいものを一つだけ教えてください。



[10] 学びを検討し始めた一番のきっかけ（動機）を教えてください。

[11] Q10で回答した状況に至った経緯を具体的に教えてください。



<経営学を体系的に学びたいと思ったから>

- ・執行役員となり、経営学の知識が必要と考えたため（自身が経営に携わるように 9名）
- ・お客様の取締役階層の方とのお話しが出来るように。
- ・関連会社の経営全般に携わるようになり、経営に関する知識不足を埋める必要。
- ・将来を考え、定年のあるサラリーマンではなく、長く働くため経営に携わりたくなった。

<実務でより高い結果を>

- ・グローバル環境でこれまでの日本でのビジネスの良し悪しを的確に伝え、さらに発展させることができなかつた経験があり、もどかしく感じていた。（仕事の壁 4名）
- ・今年独立するにあたり、これまでの経験則でない、レベルの高いスキルを得たかったから

<将来的に起業を考えているので、その足がかりとして>

- ・環境問題を中心に事業展開をしたいから。
- ・起業をしたいという思いを持っているが、経営に関する知識がない為、MBAを取得し、起業の足掛かりにしたいと考えた

<マネジメント能力の向上が必要だと感じたから>

- ・専門職としてキャリアを磨いてきたが、中間年代に入りつつある中、マネジメント能力を体系的に身に着けたい
- ・職場内でリーダーとして行動する立場となったため必要なスキルを学びたいと感じた。また管理職を目指すにあたりマネジメントスキルを習得したい。

<自分の能力に限界を感じたので>

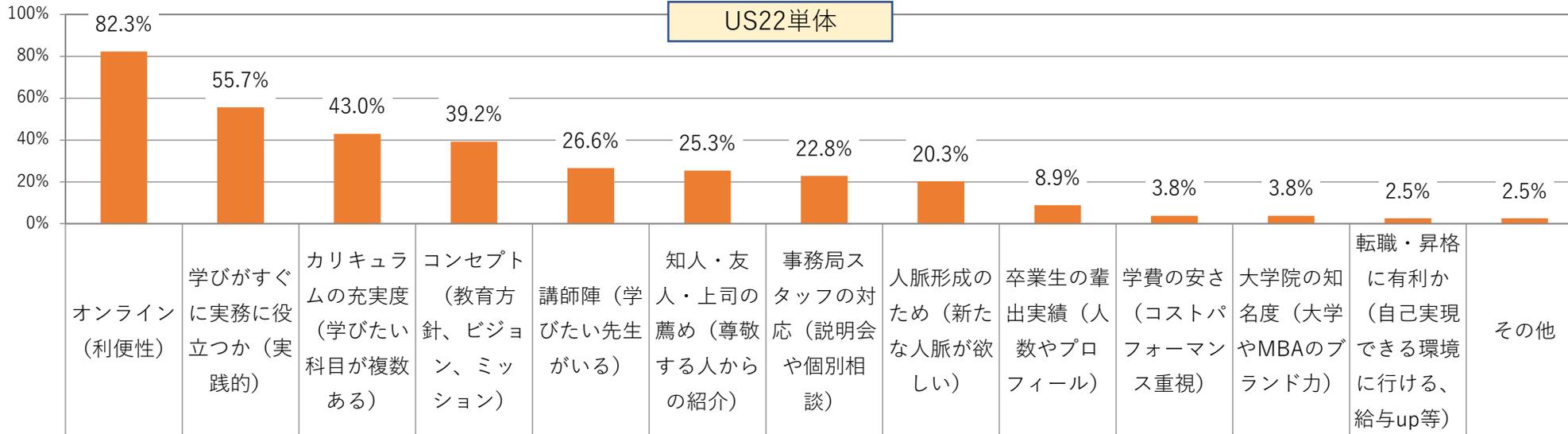
- ・経営者として、自身のアカデミックな分野に限界を感じ
- ・業務遂行力を通じた成長の限界を感じ、異業種の方との交流や新しい学びにより、思考パターンを増やしたかった。

<他>

- ・不本意な退職を経験し、原因や背景はなんだったのかと振り返った。
- ・エンタメ業界への転職を希望。分析や新しいアライアンスの考え方など業界に不足していると予想される能力を身につけアピールポイントに。
- ・起業も見据え体系的に経営を学びたい。人脈を形成したい。子供に父親の頑張る姿を見せたい。

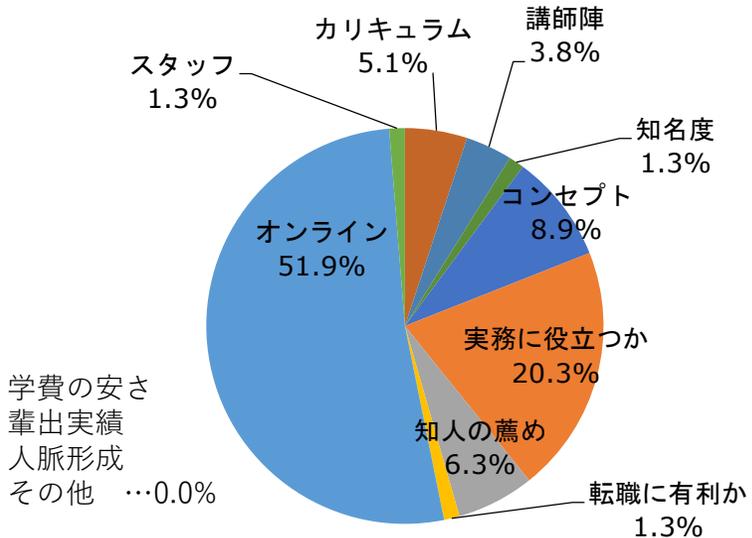
- ・体系的な経営スキルを重視 ⇒しかし修了生アンケートを見るとそれ以上に得るものがある ⇒ p.10-11
- ・期別推移でも大きな変化なし

[21]当校への入学の決め手となったものを全てお選びください。(複数回答可)

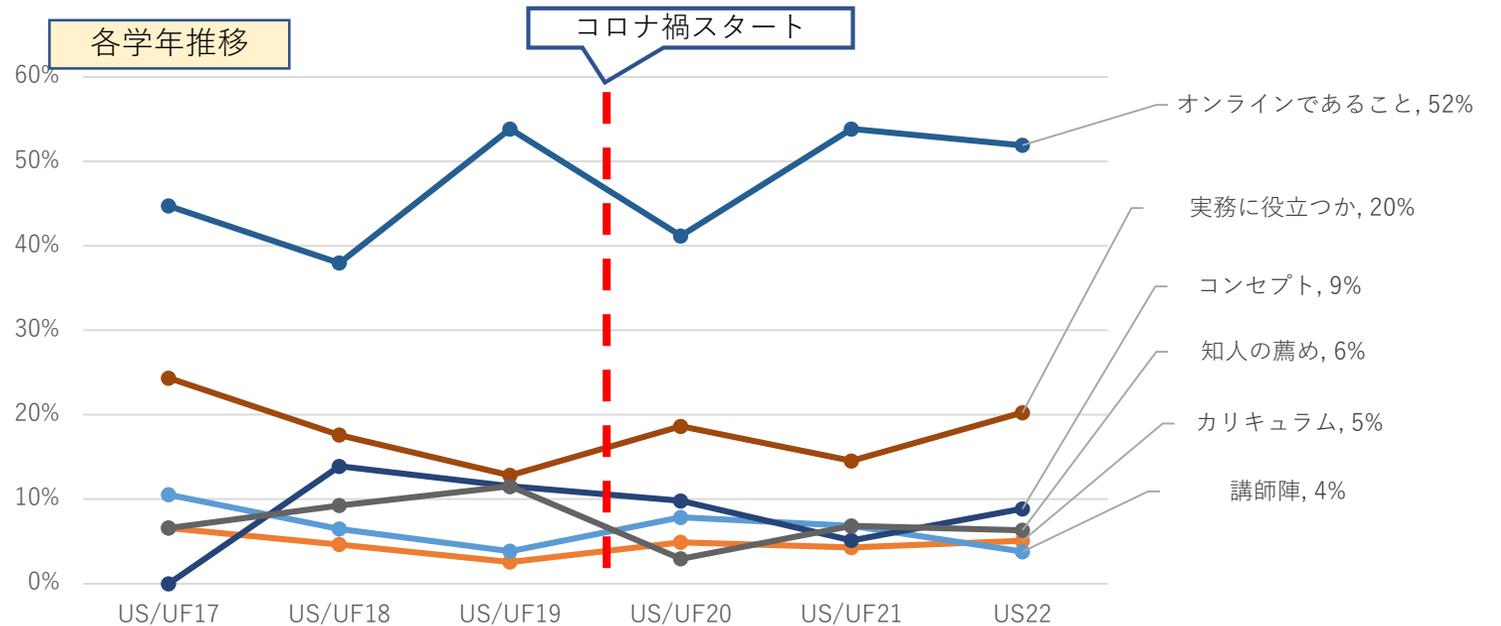


[22]Q21の中で、一番の決め手となったものを一つだけ教えてください。

US22単体



各学年推移



[23]Q22で回答した「一番の決め手」について、具体的に教えてください。

<オンラインであること>

- ・在学中に海外転勤などがあり得るので
- ・子供がおり、受講が夜間になると継続が困難なため時間帯を自由に選択して取り組めるオンラインであることが重要であった。
- ・特にアーカイブ視聴、倍速視聴は時流にあった学び方だと感じました。
- ・世界中の様々な人達と交流ができること。

<学びがすぐに実務に役立つか（実践的かどうか）>

- ・説明会において、**RTOCS**の内容を聞き、**実践的**な学びが得られると考えた。
- ・MBA資格が目的でなく（それも大切だが）、**実践的**なスキルや知識を身に着けたかった
- ・グロービスの体験コースに参加し比較しましたが、BBTの方がより**実務的**であると感じたため

RTOCSを言及：11名
(13%)

<コンセプト（教育方針や世界観、ビジョン、ミッション）>

- ・問題解決を中心においていること。斎藤先生の言葉に感銘を受けた。
- ・アントレプレナーシップに注力している点
- ・理論よりも**実践**に重きを置いているところ。

<知人・友人・上司などの薦め（尊敬する人から紹介）>

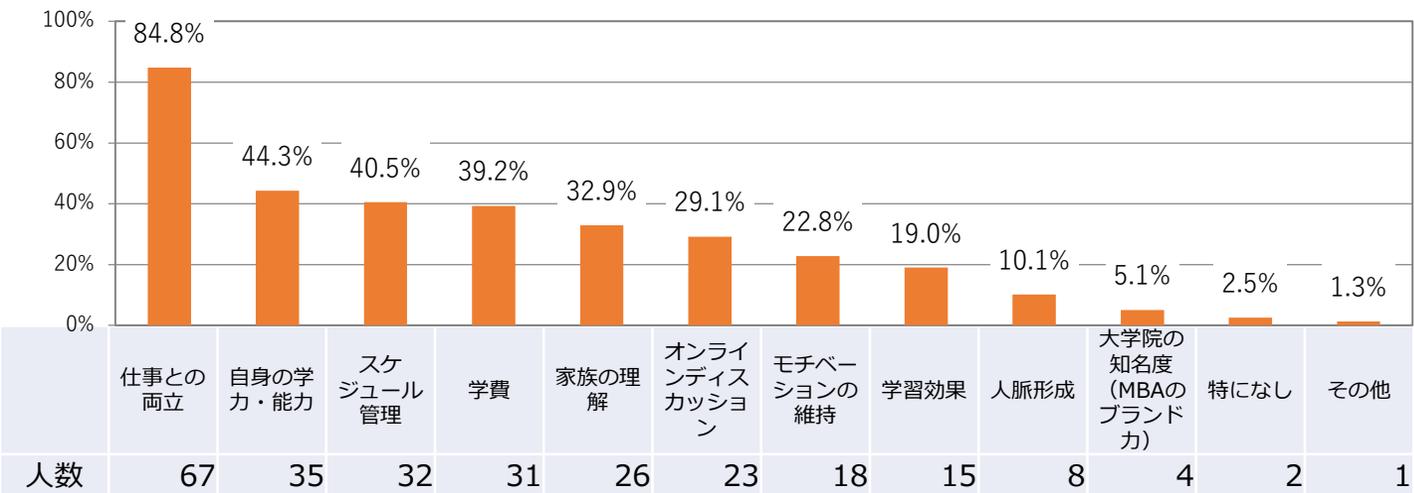
- ・MBA取得を考えている旨事業部長に相談したところ、BBT大学院を進められました。（卒業生でした）
- ・会社に修了生が何名も在籍、卒業後に実績を残している姿を見た
- ・BBTでの学びがその後のキャリアに活かされたという**体験談**に共感

<他>

- ・大前研一学長のファンだった（5名）
- ・経営スキル習得に向けた一通りの科目がある
- ・オンラインなのに人間性を感じさせる細やかな対応。（これがボツだったら驚きます）説明会は聞いていないが、電話対応が良かった。
- ・MBA取得により、業務経験知の足りない分野にも挑戦できると考えたからです。（※ 転職に有利と回答）
- ・知名度と実績（※ 知名度と回答）

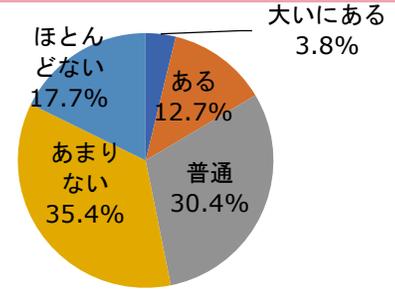
- ・期待されている内容の多様性
- ・**オンライン**、**実践的** に期待 ⇒ 修了生が良かったと感じたことと重なる（⇒期待に応えられている）
- ・コロナ前後でもオンラインが決め手（=期待）であるということに大きな変化が無かった
⇒ 今後他大学院でもオンライン化が急速に進む

[24]入学を決意されるまでの懸念事項を教えてください。（複数回答可）



その他：年齢的にオンラインツールを使いこなせるか
1~2個を選択： 32名。 最大8個（2名）

[27]経営に関する知識はどの程度お持ちだと思いますか



大いにある+ある …16.5%
あまりない+ほとんどない …53.1%

[26]今後の受講について不安な点があれば教えてください

- タイムマネジメント…19名 (グローバル対応で夜も早朝も会議の入る事あり/勉強時間をどうひねり出すか。)
- 学力・能力 …12名 (自身の学力的についていけるか。/スキルや知識がどの程度身につくか漠然としている。)
- 仕事との両立 …11名 (仕事との両立、体調を崩してから追い付けるか/海外出張が増えるが、出張時の学習をどうすれば良いか)
- ACでの発言 …5名 (自分のペースを掴めるかどうか/インプットとアウトプットのバランスがつかめていない)
- 健康 …5名 (健康な状態で大学院・仕事・家庭を両立できるか不安)
- 他
 - ツール面での不安…4名 (まだエアキャンパスの操作が不得手)
 - 履修科目について…3名 (履修科目の選定。/半期ごとの履修科目のボリュームと負荷。)
 - 気後れ…3名 (経験豊富な方が多く、ついていけるか/リーダーを目指す方、イケイケの人が多く腰が引ける。年齢差も有るが。)
 - 人脈形成…2名 (交流がメールのみで、本音の会話やコミュニケーションを通じた相互の成長につながるのか疑問)
 - スケジュール管理や連絡の要望…2名 (課題・期限をシラバスから読み取り自分で管理しなければならない。実際に入学前の説明会の日付を間違い参加できなかった。各講義の各期限がスケジュールなどに自動で入るようなことを考えてもらいたい。/事務局からの通知を取りこぼさないかが不安。履修科目の重要なお知らせもメールで通知して)

修了時にも連絡についての要望： 9名
⇒P.13

・修了生が困難だと感じた点と一致する (⇒p.13)

- 教育効果を得られたかを念頭に集計

US22 新入生アンケート

回答数: 79名

(対象: 88名。回答率:89.8%)

- 新入生の目的・方向性
- 動機、BBTを選んだ理由
- 学生生活の懸念

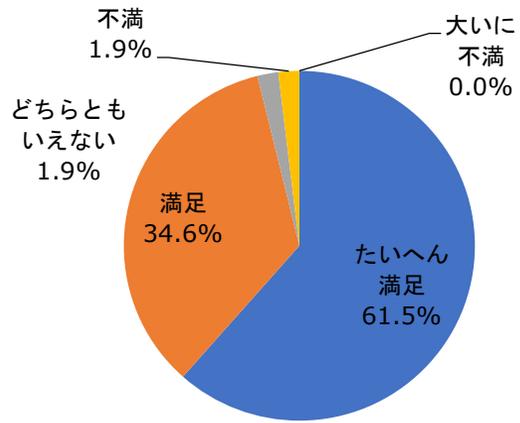
2022年春 修了生アンケート

回答数: 52名

(対象: 69名。回答率:75.4%)

- 期待に応えられたか
- 懸念はどうなったか
- 今後BBTへの期待
- 7つのプロファイル

Q1-2 本学での経験について、総合的に見ていかがでしたか？ 理由を教えてください。



他： 教授陣／学習習慣／ロジカル・シンキング／卒研

<大変満足・満足>

- 視野の広がり** 10名 (思考と結論だしの繰り返しで視野と視座の変化が得られ、実践する際の糧になった)
- 体系的な学習** 9名 (入学目的であった経営管理について、包括的に学ぶことが出来たため。)
- 仲間との交流** 9名 (優秀な仲間とのディスカッションで自身の甘さを痛感、自身を高める必要にかられた)
- 新しい学び** 7名 (入学前後の知見の差を如実に感じるため／新しい学びを得られた)
- ACディスカッション** 6名 (**実践的**で講義がわかりやすく、ディスカッションで考える力が向上した)
- オンライン** 6名 (オンラインで学ぶことができ、仕事と家庭と学びとを両立することができた)
- 実践的・業務に生きる** 5名 (仕事に還元できる)

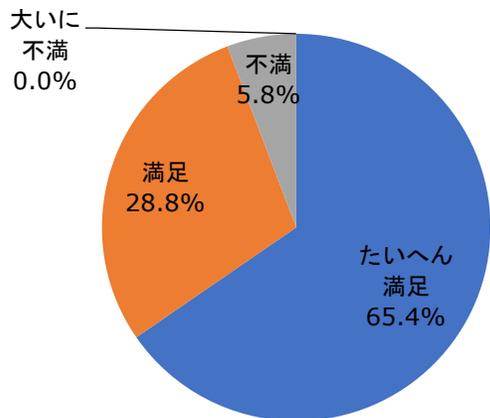
RTOCS 5名

<どちらともいえない・不満> 2名

- ・科目の構成に変化がなく、受講時間通りの価値を見出せない講義があったため
- ・コンテンツ、運用の質が低く、プロフェッショナル性が低いと感じたため。

コロナで交流不足： 3名

Q3-4. 本学の遠隔教育はいかがでしたか？ 理由を教えてください。



<大変満足・満足>

- 時間・場所の制約を受けない** 34名 (地方都市に住みながらにして日本一の講義を受講することが出来た／場所、時間の制約を受けずに学びを継続することが出来た)
→うち、場所(地方都市・外国)…11名、仕事と両立…9名、通学時間…6名、子育て…4名
- コロナの影響を回避** 8名 (コロナ禍という状況の中で、他校は授業を急遽リモートに変更を余儀なくされるなど混乱があった中で、BBTは全くそういった問題なく授業に専念出来た)
- ACディスカッション** 5名 (テキストによる議論のため時間の自由度が高く、深い議論がしやすい)

対面交流が不足 3名

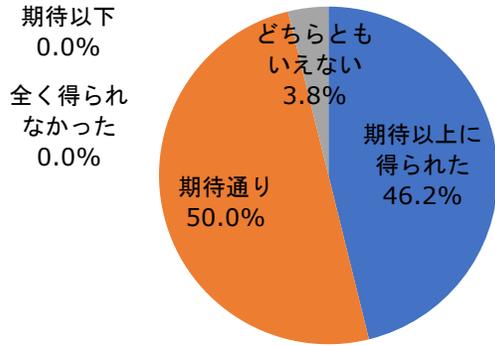
<不満> 3名

- ・ディスカッションでの問いかけが雑、指導教員やTAがあまり良い返しをしない
- ・仕組みはいいが、もう少しデザイン性やアトラクティブな面を取り入れて。
- ・学生交流が難しい

Q5-6. 入学当初期待していた学びの内容は何ですか？ 入学当初期待していた学びは得られましたか？

(自由記述→入学者アンケートでの7項目に分類)

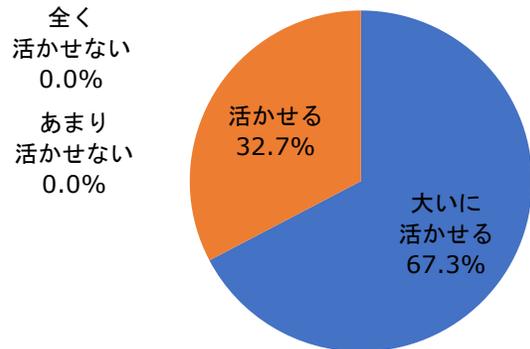
US22目標と同じ



どちらともいえない 2名
 ・問題解決力、発信力、構想力
 ・自身のやりたいことを見つける

- 経営全体を体系的に捉えることができる『**経営スキル**』 …28人
 (経営学を体系的に学びたかった／経営全般の知識が身に付けば良いぐらいのつもりでした。)
- 物事を筋道立てて考え抜くことができる『**論理思考力**』 …7人
 (ロジカルシンキングの強化／俯瞰して物事をみること。論理的思考力。)
- 日々の業務の課題を解決するための『**問題解決力**』 …4人
- 他
 - ・ゼロから企画、想像できる力
 - ・グローバルの世界で結果を出せる人になれるためのスキル (ハード、ソフト含む)
 - ・職場では得られない自己成長を求めて入学しました。
 - ・プロの経営者になるための実践的な学び

Q7-8. ここで学んだことは、今後活かせると思いますか？ 上記の理由を教えてください。



- ・**実践的だから、業務に生きる** …11人
 (フレームワークの習得だけでなく、実際の企業・経営者事例と連動して実践的に考えることができた)
- ・**問題解決力が身についた** …7人
 (答えのない時代に～どう本質的問題を捉え、どう解決していくのかという基礎の部分が鍛えられた。)
- ・**視点や考え方** …7人
 (経営的視点が身についた／自社だけでなくより世界を俯瞰して見ることが出来た)
- 他
 - ・ビジネス全般の知識を理解している人は少ないので、優位性を発揮出来ると思う。(体系的な学び)
 - ・アカデミックな知識だけでなく、最新の事例やトレンドを踏まえた講義 (**世界中のニュース**)
 - ・**卒業研究**の内容を実際に進捗させ手応えがあるため

- ・入学当初の期待 (オンライン・実践的であること) に応えられている。かつ、それ以外にも得られたものがある。
 ⇒「視野の広がり」に言及する人が目立つ
- ・満足度に関してはコロナ前後でも大きな変化なし。ただし交流に関しては「満足」でも不足を感じるケースも

Q9. 本学での学びが、自社での成果に繋がった事例をご記入ください。

自身の行動に成果 …41人

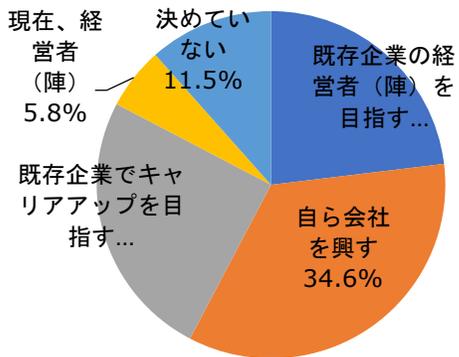
まだない 4名

- ・戦略家として周囲から認められ、実際にそういう役割を担えるようになった
- ・BBTでの学びの期間に職種転換し、営業から営業推進という企画職になりました。営業を支援する立場として、問題解決の姿勢で営業活動をするを啓蒙することで、営業のモチベーションにつながっていると感じています（昇進）
- ・企業分析をする上で、RTOCSでの見方が役に立った。
- ・経営に難のあるお取引先に対して経営改善の提案を継続できた。「何が知りたいんだ！」という最初の態度から、指導して欲しいと言われるまでに相手の態度が変わった。但し、まだ成果らしい成果はでていないので、今後も継続になります。

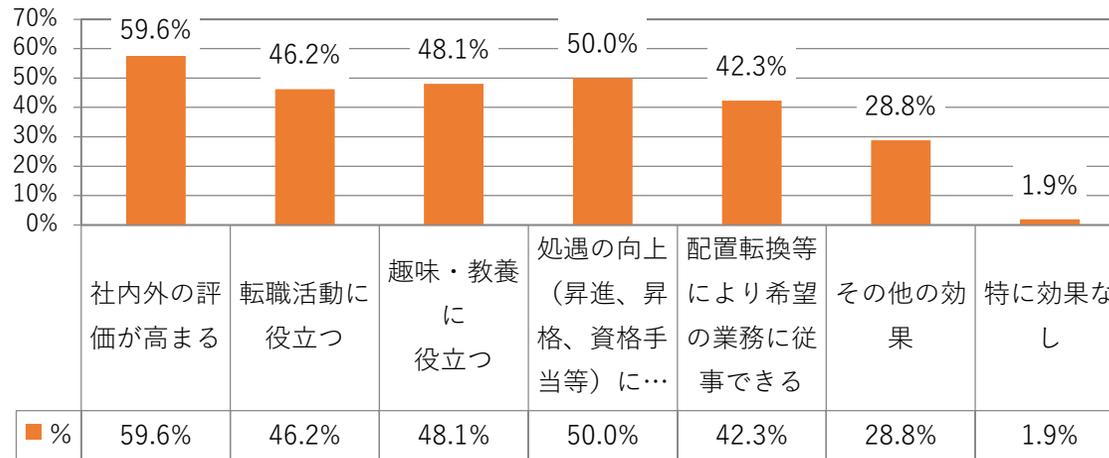
他人・企業での成果 …8人

- ・両親から引き受けた事業で、就任当時は慢性的な赤字体質であったものを「年商で約2倍・営業利益率約10%」に引き上げることが出来た
- ・BBTで学びながら海外病院組織立ち上げを任せられ、論理的思考を活かして複数の異文化チームをまとめ上げ、組織全体の強化に貢献。その実績が買われ、現在は系列の国内クリニックのマネージャーとなり、従来取り組まれてこなかった3C分析などを駆使し、本質的課題に切り込む取り組みを継続して実施した結果、今年度で過去最高の収入額を達成する見込み。
- ・コロナ禍中、新しい営業スタイルを導入し自身の支店から広がった。全国でも注目の支店となり、担当のモチベが上がり売上増に繋がった

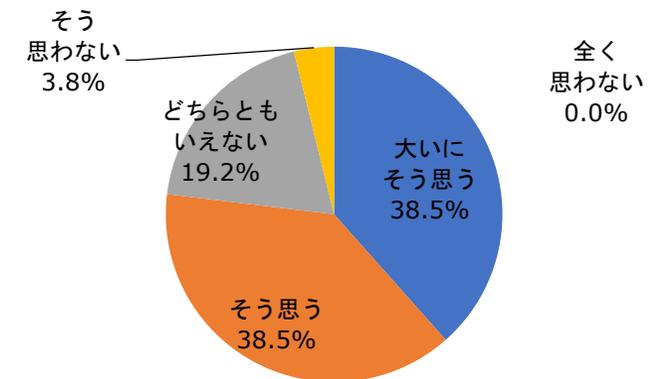
Q10. 現時点での将来の方向性



Q27. 今後考えられる受講効果についてお答えください。



Q28 .MBAの取得がキャリアアップや就職・転職等に役立つと思いますか？



Q11. どのくらいの頻度で在校生・修了生の方々と**対面**で交流する機会がありましたか？

また、その中で思い出に残るエピソードはございますでしょうか？可能な範囲内でご回答ください。

※オンラインと混同して回答した学生が多数
「対面」と思いき回数を集計

- 無し 28名
- 式典のみ 8名
- (自主的な機会)1回 2名
- それ以上 14名

・コロナ禍且つ親交の深いメンバーが各地に散らばっていたこともあり、対面での交流は一度のみだが、**オンラインでは定期的に交流。**

・コロナ禍においてリアルで合う事はできませんでしたが、オンライン上での毎月にホームルームが大変心強かった。(⇒**ホームルームに言及 10名以上**)

・「ビジネスアイデア演習」の**スクーリング**。やはり対面で受ける刺激やパワーは、オンラインでは得られない部分であると実感した。

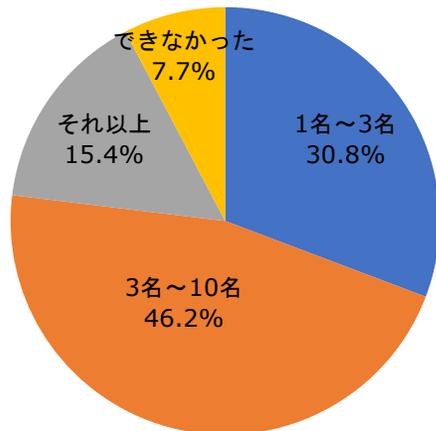
・**卒業式の後の懇親会**で初めて。一度も会うことなく議論してきたメンバーで、盛り上がって四次会まで帰る人が少なかった。

・同期生とのスタディツアーを実施

・ゴールドコースト実習

コロナの影響に
言及： 11名

Q12. 今後も付き合っていきたい仲間は何人くらいできましたか？



できなかった = 4名
(3名は「対面無し」、
1名は月1のHRに言及)

「対面の機会無し」
= 「仲間ができない」
ではない

Q13. 在校生・修了生との交流が、ご自身のビジネスで活かしたエピソードがあれば教えてください。

特になし： 29名

・銀行の方の本音を知りたく、銀行勤務者に相談。とても参考になり、取引先にも良いアドバイスができた。

・同業他社で勤務している方が居たため、情報交換を密に行うことが出来た。

・起業を前提とした事業において、**在学中クラウドファンディング**をしたところ、同期生が応援及び支援をしてくださった。オンラインでしか面識がないことを考えると異例のこと。

・現状話を進めている、自身の起業に関する**案件の相手先**の社長と副責任者のような方が、**どちらもBBT大学院、BBT大学を卒業している**点で、共通の話題となった。

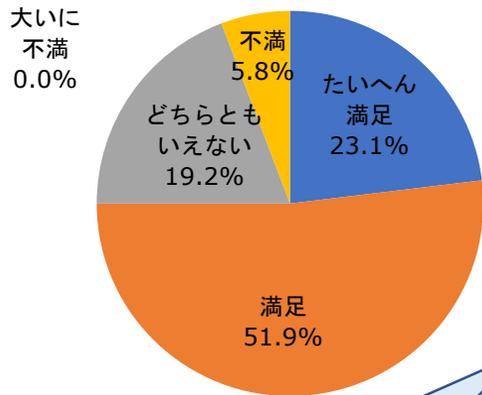
Q14. 学ぶ上での障害や辛かったことはありましたか？

仕事・家庭との両立	24名	(受講開始直後や試験直前などの時期に、長期的なイベント(家族介護や事業上の深刻なトラブル)が重なった)
時間管理	21名	(時間がないこと。時々追い詰められる気持ちになった)
科目の重複	6名	(試験が重なる)
孤独感	3名	(リアルでの交流が少ない分、孤独を感じることもありました。)
睡眠不足・体調不良	3名	(コロナ環境もあり、睡眠時間を削るにしても限界があった。)
再履修の負担	2名	(自身の仕事が自分ではコントロールしにくい状況で、試験を見送りかなりの再履修になった)
他 卒研、学部とのレベルの違い (4+1学生より)、海外からの通信状況に困難 特になし	6名	

p.6「履修科目について」
に該当

Q19. 教務部からのサポート、諸連絡、ルール運用など運営面は満足のものでしたか？

Q20. 教務部や事務局に改善して欲しい点がありますか？



特になし 27名 (対応への感謝 5名)

- ・直接顔は見えませんが温かさを感じる対応をしていただいたと思っています。ありがとうございました。
- ・期限が迫ったときのアナウンスなど、手厚くサポートして頂きました。
- ・当初は不安だったが、自律ができるように促すマネジメントはとてもよかった。

連絡が煩雑 4名 (諸連絡が煩雑で、どこに書いてあるかわからなかった/シラバス、カリキュラムやスケジュールなどをウェブ化し、見出しからすぐにアクセスできるなど、もっと見やすい工夫を)

スケジュールを見逃す 5名 (本業もあり、同時に複数科目を履修すると自己管理にも抜け漏れが出る。せめて学業に集中できるよう、期限などの重要な情報はメールでリマインドしてほしい。)

誤植、連絡ミス 2名 (日付など大事な部分の誤植があった)

<その他要望>

1on1の実施 3名 (自分からサポートを求められる人ばかりではないため、定期的な1on1の機会があると各人の継続性は高まると思いました)

他 卒研のフィードバックを書面でほしい/ビデオが古いものは撮り直してほしい/

先生・TA・教務との認識のズレがある/ACをもっと手元にして

不満 3名
いずれも連絡についての不満
(煩雑/リマインドが欲しい)

満足と答えた人も「情報がいろいろな場所に散らばっている」
ことに言及

Q23. 今後、BBTに期待することはありますか？

修了生コミュニティの活性化 12名

(先輩と現役学生間の交流イベント／卒業生との人的なつながりが強固になるイベント、取り組みが多く設定されること)

コンテンツの拡充 9名

(時代に合ったコンテンツのアップデートを続けて／今後も良質なコンテンツを提供し続けてください。)

BBTのブランド力・知名度の向上 7名

(「BBT大学院ってビジネススクール(専門学校)？」という会話が頻繁に／国際認証)

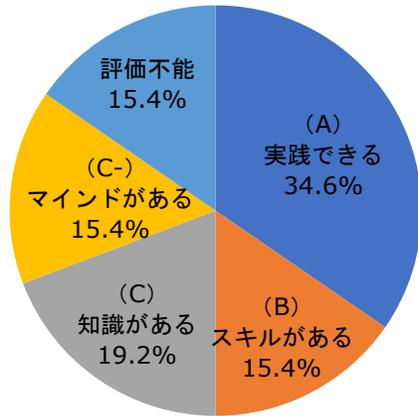
学びの場として	5名	(1人でも多くの社会人を啓蒙して／リカレント学習の普及／実践的な経営修士を世に増やして)
アルムナイサービスの拡充	5名	(修了後も講座を受けたい／大前ライブを継続して見たい)
大前学長の後継	5名	(大前氏の引退後もBBTブランドの価値を維持し、さらに増幅できることを期待しております)
企業向け研修の拡充	3名	(自社はグロービスを採用しているが、BBTの研修の方が効果的なのでぜひ導入して)

(PU) 講義では度々2年ではなく、より長期間での履修を推奨されていたが、企業からは3年での卒業を推奨されたり、成績優秀賞が2年での卒業者に限られていたり、実態とはギャップが生じていたため、ギャップ改善により実りある履修環境を構築して欲しい

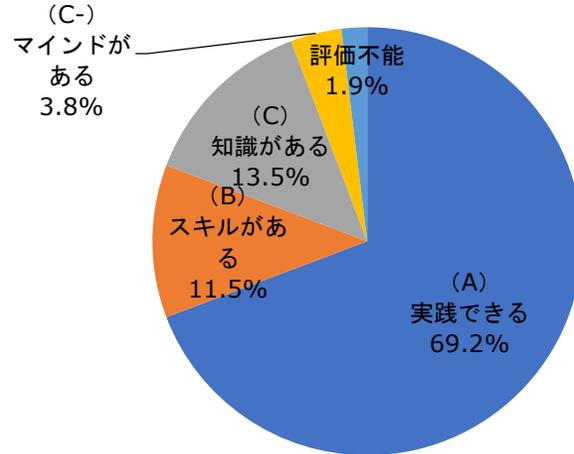
- ・ 在学中の困難は入学前に気づいている内容と一致
 - ⇒ **仕事・家庭との両立、時間管理** が最大の困難
 - ⇒ 時間管理については**連絡手段改善の要望**が修了時にもある vs 自律を促す場面でもある
- ・ 今後のBBTに求めることは5年目、10年目アンケートと比較しても似た内容

7つのプロフィール

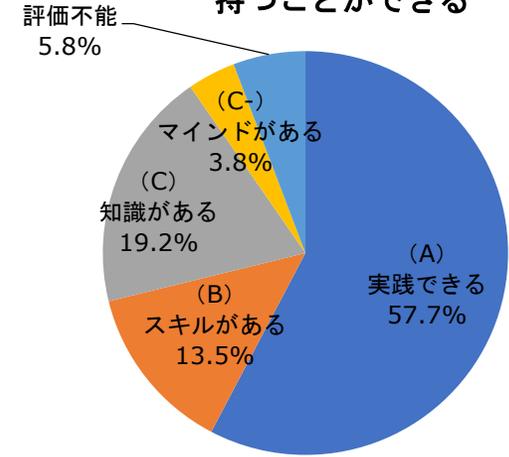
経営学全般に精通し、獲得した知識・スキル・実践力等の能力を駆使して世界とくにアジアでビジネスを行い、結果を残すことができる



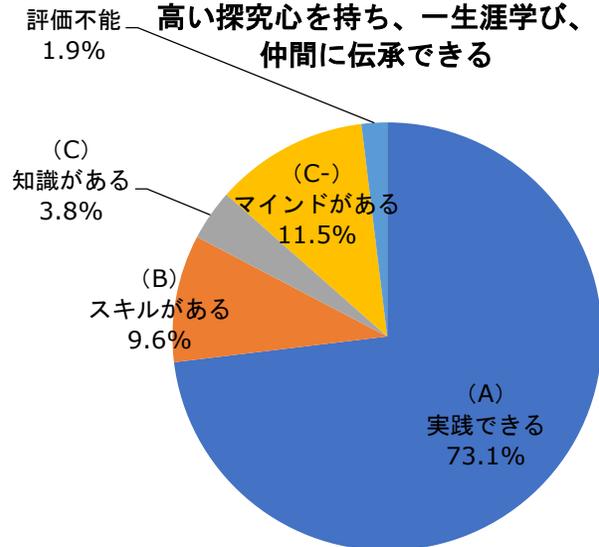
自ら問題を特定し、その解決方法を判断し、戦略的に行動できる



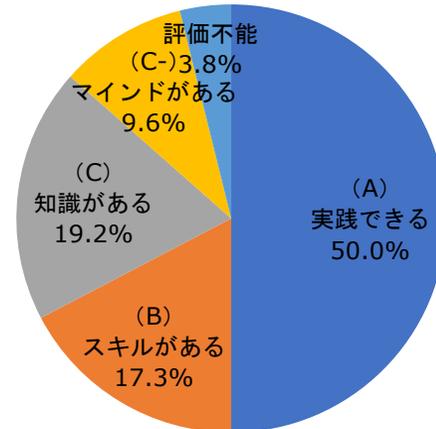
高い倫理観とインテグリティを持つことができる



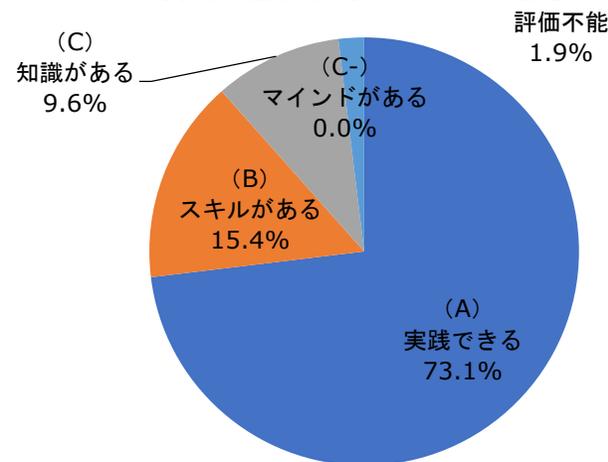
高い探究心を持ち、一生涯学び、仲間に伝承できる



起業家精神を有し、新しい事に勇気をもって挑戦することができる



多様性を理解しながら、自省と協創を行うことができる



言語・国籍・価値観の多様なチームにおいて、円滑にコミュニケーションできる

